

沖縄平和学習会に参加して

(第三弾)

全日本建設運輸連帯労働組合近畿地区トラック支部

六月一日から三日間にわたり、平和ガイドさんに協力して頂き、沖縄の歴史と現在を学びました。初日には普天間飛行場の代替地となる辺野古新基地建設現場に見学に行き、現地の新基地建設を反対している理由や説明を受けました。

そして、読谷村へ行き、役場の前にある憲法九条の碑や金城実さんのアトリ工に行き、話を聞きながら見学しました。二日目、嘉手納(道の駅)に行き、「安保の丘」

「嘉手納基地」を見学しながら爆音差止め訴訟団原告の平良氏から話を聞き、その後、集団自決が起こつた「チビチリガマ」へ行きました。

この日、広島から爆ピアノを用いて平和を祈るコンサートが行われており、終了後ガマの中へ入れてもらいました(下写真・中央が筆者)。

高台」に行き、展望台から普天間基地に配備されているオスプレイを見て、又、米軍が侵攻してきた時に、反撃の為に作られたトーチカなどを見学し



ました。その後、那覇市内に五年前に建設された「瀬長亀次郎氏の功績を称え、沖縄県の祖国復帰に尽力した個人の残した資料が展示されている資料館「不屈館」に行き、ビデオ鑑賞と娘さんから説明を受けました

三日目は、朝一番にアプチラガマ(系数壕)に行き、ヘルメットをかぶりガマの中を見学しました。ここでは、住民が避難していたガマが南風原陸軍病院の分室となり、軍医・看護婦・ひめゆり学徒隊、負傷兵で埋め尽くされていたそうです。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!



その後、平和祈念公園
に行き、平和の礎とい
う、敵味方関係なく沖
縄戦の戦死者二十万
人以上の慰霊碑が小
高い丘の上にあり、
又、司令官牛島満が
自決したという壕を
丘の上から見ました。
その後、戦後の沖縄
で最初に建てられた
慰霊塔

「魂魄の塔」で樋口
団長の献花の後、全
員で黙祷しました。

私は、沖縄へ行った
のは初めてでした。
沖縄戦の事は勿論、
新基地建設の問題・
実態・沖縄に占める
米軍基地の割合・
「ガマ」という言葉
でさえ初めて耳にし
ました。

その後、平和祈念公園
に行き、平和の礎とい
う、敵味方関係なく沖
縄戦の戦死者二十万
人以上の慰霊碑が小
高い丘の上にあり、
又、司令官牛島満が
自決したという壕を
丘の上から見ました。
その後、戦後の沖縄
で最初に建てられた
慰霊塔

いて、触れた歴史・事
実・戦争によって奪わ
れた命・人権を学び、
戦争というものが想
像していた以上に悲
惨な事だと実感しま
した。

同じ日本人同士・親
子・人間同士が争い、
失わなくて良いはず
の命を奪い合い、また
自分から命を絶つて
しまうという自決行
為が多くあったとい
う事実を聞いて愕然
としました。

戦争は過去の事では
なく、今もつらい経
験をして、夜も眠れ
ない方々がいるとい
う現状、またその
方々によって語り継
がれることが、今後
の戦争をなくすため
の努力につ

ながるんだなと思
いました。

今回、このような学
習会に参加できて、
本当に良かったと思
います。

まだまだ知らない事
がたくさんあると思
いますので、今後も
現地学習会を含め、
知る機会があれば
積極的に参加して
いきたいと思います。